

し、専門家（中小企業診断士）をファシリテーターに会合を重ね、ミッション・ビジョンを「ことば」としてアウトプットすることが出来ました。近い将来のあるべき姿を示すことで、組合の求心力を高めたいと考えています。

組合機能強化支援事業とは・・・

専門家を活用して、SWOT分析や組合員の意識調査、組合員同士の徹底した話し合いを行い、組合事業における課題の抽出と改善及び今後の組合の方向性を策定、組合機能の強化を総合的に支援します。

3 組合事業に取り組んでの今後の課題

昨年度策定したビジョンを実現するためのアイデア（新たなコア事業）を検討するため、平成29年度も引き続き中央会の「組合機能強化支援事業」を活用し、委員会活動を継続中です。「夢のある将来像」ですので、面白い施策の芽がたくさん出ています。また先進団地の情報収集にもさらに力を入れています。魅力あるビジネスタウンへ向け、乗り越える課題は多いですが前向きに取り組んでいるところです。

4 将来に向けた今後の対応

これから新しいことを手掛けていく中で、いろいろな困難も予想されます。より利用しやすい雇用制度の充実や、金融支援制度の創設・充実など、応援していただきたい事柄もあります。またビジョンを手掛かりとして、組合員間の交流を更に充実させていくことで組合の機能を更に高めていきたいと考えています。やまがた発展のために、これからも山形流通団地は“変革への挑戦”を続けていきます。



代表取締役社長 安部 吉弘氏

【株式会社安部吉】

所 在 米沢市中央2-5-17
代 表 者 代表取締役社長 安部吉弘
事 業 婦人服地、ニットなどの製造販売

1 業界を取り巻く現状と課題

米沢織は呉服、服地とも認知度が高く、国内で確固たる地位を築いており、その技術力の高さは、国外でも高く評価されています。国内の市場はファストファッションの台頭や百貨店・専門店の販売不振、スマートフォンを中心とした通信関係市場へ消費動向がシフトするなど、高級ブランド市場は縮小し、低迷を余儀なくされていますが、若手を中心に産地に後継者が多いことは、明るい材料となっています。

2 企業としての取組と実施事業

企業特色をさらに活かすべく、当社では縮小傾向が続く国内市場を見据え、5年ほど前からものづくり補助金、山形県中小企業トータルサポート補助金を活用し、設備を更新すると共に、新市場開拓を進めています。平成29年度は、山形県中小企業スーパートータルサポ補助金（販路開拓事業）を活用し、ジャカード織を活用した壁紙用生地の販路開拓について、コンサルタントを受けながら、商品開発及び市場マッチング戦略を構築し、これまで参入してこなかった壁紙分野という新市場を開拓することを目指しています。

山形県中小企業スーパートータルサポ補助金とは・・・

県内中小企業が、本県の強みである、ものづくりの基盤技術や多種多様な地域資源を活用して取り組む、新製品や新サービスの開発・事業化を促進するため、市場調査、研究開発、試作等の取組みのうち、山形県知事が認定したものに、補助金を交付するものです。

3 今後の課題

当社は生地製作に関しては本業ですが、壁紙分野へ新規参入をする場合解決しなければならない課題として、
i) マッチングの問題 ii) 品質検査の問題 iii) 防炎性の問題 iv) 裏張りの問題などがあります。

4 将来に向けた今後の対応

ターゲットとする高級壁紙市場について、常に市場分析を行いながら、当社の得意とする商品を売り込むための販売戦略を構築していきます。またそれと並行して段階をふみながら、さまざまな課題を解決し、商品の企画・開発を行っていきます。これまで参入してこなかった新市場、壁紙分野への新規参入が成功すれば、販売実績が全てプラスの売上となります。この分野での商圏が拡大すれば、国内の減少分をカバーできるばかりか、更なる売り上げ増が期待でき、産地の関連業種にも広く経済効果をもたらす事ができます。産地内での物づくりチェーンの維持を考え、生産規模の維持・拡大を目指していく事こそ、“当社の使命である”と考え、事業に取り組む所存です。

●会員の集い懇親会

意見交換会に引き続き、吉村美栄子知事にご臨席いただき懇親会を開催しました。乾杯のご発声を山本益己商工中金山形支店長からいただいた後、幅広い業種の参加者同士による情報交換を行いました。